190 -般会計 会計 事業区分 事務事業名 森林づくり推進事業 政策 実施区分 継続 開始 終了 主要区分 主 記号 計画等名称 若者が帰ってこられる産業をつくる 1 戦略計画 地域経済活性化プログラム 根 拠 飯田市森林整備計画 分野別計画 21'いいだ環境プラン 森林法 法令・例規等 対象 民有林及び市有林森林所有者及び市民 事業目的 意図 多面的機能を発揮できる森林の育成と健全な森林としての保全管理森林ボランティア等の新たな担い手の確保

2 事業内容

2 事業內谷													
ſ		取組内容							経費の内容				事業費(千円)
ı		森林の持つ多面的機能(水源の涵養、土砂流出の防備、保健							森林造成事業に対する補助				6,417
ı		休養等の役割)を発揮させるため、森林整備を行った市内の							間伐促進対策事業に対する補助				16,211
		民有林(国有林を除く森林)を対象に、補助金を交付しまし							みんなで支える里山整備事業に対する補助				7,638
		た。また、豊川水源基金による整備や分収造林契約に基づく							里山整備、緩衝帯整備、森林学校の運営				4,089
		森林整備	を実施しまし	た。				河畔林の整備					5,400
	30年度			力の向上や森林は				豊川水源林の整備					1,636
	取組	ど、森林づくりを進める担い手を育成するため、いいだ森林							分収林の整備				4,407
				を実施しました。					27 17 11 02 正 16				,
		森林整備に直結する作業道整備を実施しました。											
		河川周辺の荒廃した里山を、防災・減災を目的に整備しま											
ı		した。							その他の経費				0
		<u>ما</u> لد	1= 0 (*L/t	単位	平成:	28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年	度	令和2年度		
		指	標名 (数値で		〕	€績	実績	実績					
		間伐面積 ha						446.23	404.29	488.15			
		搬出間伐面積 ha						72.35	87.89	78.98			
	活動指標	間伐を除	く森林整備面	債		ha		71.79	61.33	45.23			
	/白里川1日代示	間伐作業	路開設延長			m	0		500	212			
		豊川水源	基金助成金の	ha	5		5	5					
ı		分収造材	ha			0	109						
ı		河畔林の	整備	ha				2.72					
l													
ı		予算額 60,750				特定財源内訳及び補足事項							
		,		45,798									
	30年度		国庫支出金	0	(県) 里山整備方針作成事業補助金(10/10) 486千円								
ı	決算	財源の 状況	県支出金	10,702		(県)間伐作業路整備事業補助金(国1/2) 1,755千円							
ı	(千円)		地方債	0		(県) 河畔林整備事業補助金 (9/10) 4,860千円							
			その他	7,427							/		
L		- 一般財源 27,669 (そ)分収造林受託事業収入 4,407千円 30→1 繰越明許費 6,2							升實 b,24	7十円	1		
			トゥマゲいロ										

2 車級車業を構成する名質科目

だ森林学校を開講し各種講座を実施します。

_ ≾ ≢	■扮事業を構成する予算科目											
番号	会 計	款	項	目	大事業	中事業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)			
1	1	6	2	2	11	1	13,313	6,417	森林造成事業費			
2	1	6	2	2	11	3	17,681	16,211	間伐促進対策事業費			
3	1	6	2	2	11	5	7,638	7,638	みんなで支える里山整備事業費			
4	1	6	2	2	11	6	10,886	9,489	森林づくり推進支援事業費			
5	1	6	2	2	28	3	1,637	1,636	水源林対策事業費			
6	1	6	2	2	29	3	9,595	4,407	分収造林事業費			
7												
振返	振返り課題認識			森林整備が遅れ、森林の持つ多様な多面的機能(水源の涵養、土砂流出の防備、保健休養等の役割)が効果的に発揮できない状況が生まれています。 林業労働者数の減少、財産区役員の担い手不足、森林所有者の意欲低下による山林放棄等が課題となっています。健全な森林を育成し、市民の関心を高め、多様な主体による森林づくりを推進していく必要があります。								
上記の課題解決 のための有効策			森林整備計画に基づき有効な事業を展開します。									
	度に向取り組		引き続き森林整備を行うための補助金を交付します。市有林を健全な森林として保全していくため、豊川水源基金による整備を行い、森林関係者等の技術力の向上や森林ボランティアの養成など、森林づくりを進める担い手を育成するため、いい ば恋な学校を思禁し条無護成を実施します。									